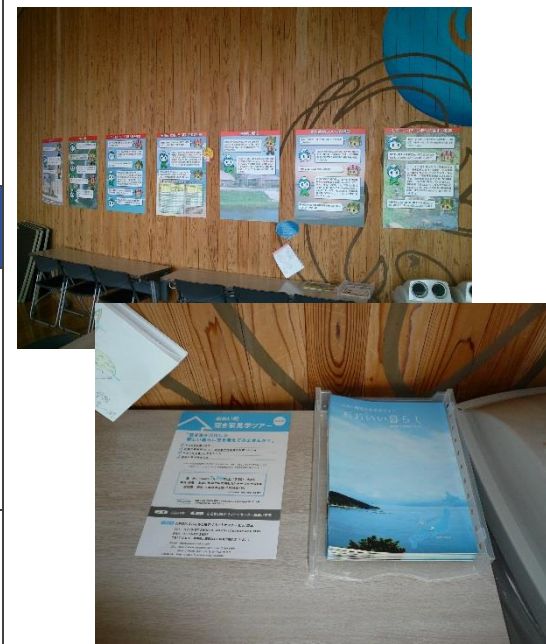


戦略区分	戦略4 活力ある暮らし！生活基盤整備戦略！			整理 No.	19
戦略事業名 (予算事業)	子育て世代に優しい町PR事業	担当課	住民福祉課		
	(こども家族館管理運営事業)	H28 実績額	0 千円		
		H29 予算額	- 千円		
事業の概要	町内外の子育て世代が多く集まる県立こども家族館において、子育て世代等に係る町の取組施策のPRを行い、移住・定住の促進を図る。				
これまでの実績	平成27年6月から、町子育て支援施策PRパネルを館内に掲示し、併せて町定住者支援ガイドブックを設置している。				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標	現状	KPI 達成率	
	イベント開催時における窓口相談件数 (H26 -)	(H31) 累計 500 件	(H29.7) 15 件	3.0%	
今後の取組	引き続きパネル等の掲示を行う。				
今後のPR・方向性	来館者を増加させることにより、より多くの子育て世代に町のPRを行い、移住・定住の促進を図る。				



当該事業における成果と課題（各課で記載）

成果	こども家族館のランチプラザにパネルを展示しており、休憩中や食事中にパネルを見たり写真を撮る方も見受けられ、PRできていると考える。
課題	パネルをみて興味をもった方に、より具体的にPRするためのパンフレット等が必要。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・子育て支援の内容を取りまとめたパンフレットやリーフレット等の作成により、情報を自宅に持ち帰ってもらうことができるような取組が必要と考える。
KPI達成状況・見直し	・現状の推移では目標に届かない。
その他	・ホームページの子育て情報を充実（具体的な取り組みの掲載など）も検討してはどうか。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	今後とも継続的に情報発信に努められたい。
---------	----------------------

戦略区分	戦略4 活力ある暮らし！生活基盤整備戦略！				整理 No.	20										
戦略事業名 (予算事業)	住宅取得等支援事業			担当課	建設課											
	①（おおいの住まい支援事業）	H28 実績額		7,700 千円												
	②（U・Iターン者住まい支援事業） ③（分譲地購入者住まい支援事業）	H29 予算額		20,400 千円												
事業の概要	県産材を利用した新築・リフォーム、U・Iターン者が行う新築・リフォーム、分譲地購入者が行う新築等に要する経費の一部を助成する。															
	これまでの実績	① H27 12件 H28 9件 ② H27 5件 H28 3件 ③ H27 — H28 5件														
	KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="495 785 846 865">評価指標</th> <th data-bbox="851 785 1093 865">数値目標</th> <th data-bbox="1097 785 1169 865"></th> <th data-bbox="1173 785 1415 865">現状</th> <th data-bbox="1420 785 1565 865">KPI 達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="495 868 846 1158">住宅取得数に係る助成件数</td> <td data-bbox="851 868 1093 1158">住宅取得支援事業累計(H31) 100件</td> <td data-bbox="1097 868 1169 1158">⇒</td> <td data-bbox="1173 868 1415 1158">(H28末) 34件</td> <td data-bbox="1420 868 1565 1158">34%</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標		現状	KPI 達成率	住宅取得数に係る助成件数	住宅取得支援事業累計(H31) 100件	⇒	(H28末) 34件	34%				
	評価指標	数値目標		現状	KPI 達成率											
住宅取得数に係る助成件数	住宅取得支援事業累計(H31) 100件	⇒	(H28末) 34件	34%												
今後の取組	広報誌やホームページ等を利用し、引き続き事業についての広報を行う。															
今後のPR・方向性	町の情報を把握しやすい広報誌やホームページを利用し、引き続き事業について広報を行う。 県や建築業者と協力しながら事業の広報を行う。															

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	事業利用者の住環境向上や定住促進につながった。
課 題	・「U・Iターン者住まい支援事業」「分譲地購入者住まい支援事業」については、事業開始時は町内業者による新築が対象であったが、H29より町外業者による新築も対象となった。対象者が拡大されたことにより、利用者への広報を行う必要がある。 ・民間分譲地購入者の把握が難しいため、民間分譲地を販売している事業所と協力する必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・事業利用までの相談の内容を把握・分析することにより、事業の利用につながるのではないか。また、それらを踏まえた広報の強化（リーフレット作成、不動産業者への情報提供）が必要。
KPI達成状況・見直し	・現状の推移では目標に届かない状況であるが、H29より事業対象の拡大が図られているため、当面は推移の把握に努める。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------

戦略区分	戦略4 活力ある暮らし！生活基盤整備戦略！				整理 No.	21									
戦略事業名 (予算事業)	宅地造成事業		担当課	建設課											
	(住宅用地造成事業)		H28 実績額	4,182 千円											
			H29 予算額	0 千円											
事業の概要	分譲地（大島南浦地区 20 区画、名田庄三重地区 18 区画）の宅地造成を行う。（H28で事業終了）														
これまでの実績	H26 9件 H27 1件 H28 3件														
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">町が関与した分譲地の売却件数</td> <td>(H31)</td> <td>(H28)</td> <td rowspan="2">34%</td> </tr> <tr> <td>38件</td> <td>⇒ 13件</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状	KPI達成率		町が関与した分譲地の売却件数	(H31)	(H28)	34%	38件	⇒ 13件			
評価指標	数値目標	現状	KPI達成率												
町が関与した分譲地の売却件数	(H31)	(H28)	34%												
	38件	⇒ 13件													
今後の取組	広報誌やホームページ等を利用し、引き続き分譲地の広報を行う。														
今後のPR・方向性	県内で発刊されている住宅専門誌への掲載や、分譲地に看板を設置し購入希望者へ広報する。														

当該事業における成果と課題（各課で記載）


成 果	分譲地購入者の定住促進につながった。
課 題	分譲を行っている土地開発公社の分譲状況を常に把握し、早期分譲に向け広報活動等で協力する必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・分譲地の所在地の問題もあるが、分譲地の特性をPRしてニーズとのマッチングを図る取り組みが必要。
KPI達成状況・見直し	・現状の推移では目標に届かない状況であるが、売り切りに向けた取り組みに当面取り組む方向。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------

戦略区分	戦略4 活力ある暮らし！生活基盤整備戦略！			整理 No.	22										
戦略事業名 (予算事業)	おおいの空き家は良い空き家！どんどん使って！事業 (空き家等再生等推進事業)	担当課 H28 実績額 H29 予算額	総合政策課 建設課 588 千円 1,820 千円												
事業の概要	町内の空き家および空き地についての情報を収集・整理し、町への移住・定住のため、建物・土地を求めている人への情報提供や斡旋等を実施する。加えて、町内の空き家の利活用等を積極的に推進すると同時に、町への移住・定住につなげる、お試し移住制度を創設する。														
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し居住住宅の利用実績：28年度7件、29年度7件（6月末） ・空き家見学ツアー（実施協力）：開催1回、参加者13組19人 ・空き家情報バンクの運営：登録累計8件、うち4件の紹介実績 				 <p>お試し居住住宅（三森）</p>										
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家・空地利用にかかる相談件数</td> <td>(H31)</td> <td>(H29.5)</td> <td rowspan="2">6%</td> </tr> <tr> <td>(H26 -)</td> <td>累計200件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	現状		KPI達成率	空き家・空地利用にかかる相談件数	(H31)	(H29.5)	6%	(H26 -)	累計200件	12件		
評価指標	数値目標	現状	KPI達成率												
空き家・空地利用にかかる相談件数	(H31)	(H29.5)	6%												
(H26 -)	累計200件	12件													
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町自らが空き家見学ツアーを開催し、回数・内容を充実 ・空き家情報バンクの登録件数の増加、制度のPR・お試し居住住宅の提供数増加、移住等希望者への周知方法の多様化 														
今後のPR・方向性	空き家の利活用及び空き家特措法による特定空き家の除却等などの空き家対策について、「おおい町空き家等対策検討会」を開催し、29年度中に町の空き家対策の大きな方向性を打ち出す予定。未来創生戦略事業を含め、この枠組みで着実に実施していく。														

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成果	空き家見学ツアーを通じて1件の空き家の取引が成立しており、空き家対策の有効な手法であると考えます。空き家情報バンクは所有者と購入希望者のマッチングの入り口として引き続き運用を行っていく。お試し居住住宅は移住希望者の他、フィールドワークを行う大学生などの利用希望もあった。
課題	空き家見学ツアーは近隣市町でも多数実施されており、NPOとの協働等による内容拡充が求められる。空き家情報バンク登録件数は、町内の空き家総数に比して増加の余地があるので、所有者等への周知等を拡充する。お試し居住住宅は町内の別地域でも提供することが必要であり、また移住・定住希望者にピンポイントで情報を届ける方法を検討する必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・利用できる空き家を使える間に処分するとの意識が高くないと考えられる。長期的な視点で、利活用に興味を持っていただけるような取組みの検討が必要。
KPI達成状況・見直し	・達成については難しい方向であるが、継続した取組を進める。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	空き家の活用にはリフォームが必要なので、この点の取組みの広がりを検討するとよい。
---------	--